



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2002.10.24 No 26 - 09

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274
E-mail:office@alpajapan.org

SECURITY について考えよう

シリーズ

COCKPIT DOOR の開閉等について

IFALPA Annex 17 は、ICAO Annex 17 (Security 関連) に対応する Manual です。IFALPA には Security の項目を検討する、Security (SEC) Committee がありますが、現在、SEC Committee 内で、昨年発生した米国同時多発テロ事件に対応する、IFALPA Annex 17 の Security 対策の根本的な見直しが行われています。改定された項目の特徴点、関連した取り組みを紹介いたします。

米国同時多発テロ事件後に見直される、IFALPA Annex 17 の Hijack 対策は、概略次のようなものです。

Hijack 発生時：

- 乗員は航空機の Control のために操縦室内に残る。
- 乗員は SOP に則った Control を行なう。
- 発生した脅威のレベルに応じ緊急の程度を図り、できるだけ速やかに着陸する。
- 客室乗務員は客室内の Control に対処する。

また改修された操縦室扉であっても、開閉の際には当然 Hi Risk な状況となるため、あらたな扉操作のルールづくりも検討されています。

- 操縦室扉が開かれている場合には、少なくとも一人以上の客室乗務員は即応対応が可能な位置にいななければならない。
- 扉が開かれる以前には、近辺のクリアを確認する。

操縦室扉の近辺では、「Sterile Area」を確保することが基本的なコンセプトになり、扉周辺の安全性を確認するための方法が必要です。現在の客室の構造には問題点が多く、扉の近くにある前方のギャレーやトイレは、操縦室扉が開かれる場合には必ずクリアーが確認されなければならないことになるでしょう。

(次項へ続く)



そしてこの確認を行うため、操縦室扉を開くたびに必ず客室乗務員に連絡しなければならなくなるでしょう。

米国だけではなく欧州やICAOでも、装備品、客室乗務員の訓練、操縦室内への立ち入り、客室のレイアウト等々について検討されています。

IFALPAでは今後、Video Systemについての具体的な必要仕様、操縦室扉開閉のためのガイダンス、などについての検討を進めていきます。

* 参考資料として、2002年の定例総会で確認されたIFALPAのPolicy Statement(通称：POL STAT)をご紹介します。

Entry to Flight Deck/Locking of Flight Deck Door (POL STAT 2002)

Flight deck doors should be capable of being locked. The flight deck door lock should be operable from the pilot's station.

Enhancing the security of flight deck doors is not considered to be a substitute for proper and adequate ground security and pre-boarding screening and control. Locked doors can impact the safety of the crews and passengers in the case of an accident or incident.

IFALPA is of the opinion that the locking of flight deck doors should function in combination with a **visual / video identification system displaying the area behind the cockpit door to the flight deck crew while at their stations**. This is considered essential for adequate access control. In addition, adequate procedures and communication systems between flight deck and cabin crew must be in place.

At present, under normal conditions, the door should remain closed. IFALPA recognizes that flight deck doors may be required to be locked. Member Associations are strongly encouraged to participate in the development of operational procedures in co-operation with the Authorities and operators.